

第32回東京国際映画祭  
日本映画スプラッシュ部門  
正式出品作品

第59回  
アジア太平洋映画祭  
主演女優賞受賞

その戦いは、  
一枚の布団から始まった――

# Mrs. Noisy

MRS. NOISY

監督・脚本：天野千尋

篠原ゆき子 大高洋子

長尾卓磨 新津ちせ 宮崎太一 米本来輝 洞口依子 和田雅成 縄田かのん 田中要次 風祭ゆき

製作：井出清美／植村泰之 企画：貝津幸典 エグゼクティブ・プロデューサー：鍋島壽夫／横山勇人 プロデューサー：高橋正弥 脚本監修：加藤正人 共同脚本：松枝佳紀  
撮影監督：田中一成 録音：星野裕雄 編集：櫻木絵理 ミキサー：松山千紘 ヘアメイク：渡辺順子 装丁デザイン：川合空 タイトルデザイン：カタバミプラス ポストプロダクション：レスパシジョン  
助監督：高野佳子／加藤拓人 音楽：田中麻介 & 熊谷太輔 主題歌：植田真梨恵「WHAT'S」(GIZA studio) 宣伝デザイン：秋山京子 宣伝：細谷隆広／矢部紗耶香 企画協力：アクターズ・ヴィジョン  
配給：アークエンタテインメント 特別協力：アミューズメントメディア総合学院 制作：ヒコーキ・フィルムズインターナショナル／メディアプルボ [2019年 | 106分 | 日本] ©「Mrs. Noisy」製作委員会



お隣さんはモンスター!?!  
メディアを巻き込む、炎上覚悟のご近所バトル狂騒曲!



# 今、あなたの《常識》が試される!

ささいなすれ違いから生まれた隣人同士の対立が、マスコミやネット社会を巻き込んで、やがて2つの家族の運命を狂わせてしまう。まさに今、誰の身にも起こり得る「SNS炎上」や「メディアリンチ」など、社会事情も絡みつつ、後半思わぬ方向に事態が進んでいくサスペンスフルな展開は、最後まで目が離せません。あらゆる「争い」についての普遍的真理をテーマにした、天野千尋監督によるオリジナル脚本は構想3年。すでに第32回東京国際映画祭・スブラッシュ部門のワールドプレミアでは大反響を呼び、劇場公開が熱望された衝撃の問題作です。

主人公の小説家・真紀を演じるのは「共喰い」「楽園」などの篠原ゆき子。本作の好演で第59回アジア太平洋映画祭主演女優賞を受賞。謎の隣人夫婦役をオーディション選出の大高洋子と宮崎太一、ほか長尾卓磨、米本来輝、和田雅成そして、田中要次、洞口依子、風祭ゆき、ら名優が共演。また、真紀の娘は人気ユニット「Foorin」のメンバー“ちせ”こと、新津ちせが演じているのも話題です。

東京国際映画祭での  
称賛コメント!

実際の事件を巧みな脚色により、極上のエンターテインメントかつ、社会ドラマへと昇華させている。圧巻のクライマックスは最高!

小さな出来事が結果として大きな惨劇を招いてしまう、そういう現代社会の縮図が見事に描かれていました。

最初からぐいぐい引き込まれた。イライラする笑えるわ、泣けるわ…一時も飽きませず。期待以上だった。

[STORY]スランプ中の作家・真紀は、奇妙な隣人・美和子に悩まされている。早朝から布団を叩くけたたましい騒音、そして嫌がらせの数々で、ストレスは溜まる一方。ついに美和子を小説のネタに書くことで反撃に出る。だが、それが予想外の事態を巻き起こし、マスコミを騒がす大事件へと発展していく……



## ミセス・ノイズィ MRS. NOISY

監督・脚本：天野千尋  
 出演：篠原ゆき子 大高洋子 長尾卓磨 新津ちせ 宮崎太一 米本来輝 洞口依子 和田雅成 細田かのん 田中要次 風祭ゆき  
 製作：井出清美/橋村泰之 企画：貝津幸典 エグゼクティブプロデューサー：鍋島善夫/横山勇人 プロデューサー：高橋正弥 脚本監修：加藤正人 共同脚本：松枝佳紀  
 撮影監督：田中一成 録音：星野裕博 編集：櫻木絵理 ミキサー：松山千紘 ヘアメイク：渡辺原子 装丁デザイン：川合空 タイトルデザイン：カタハミプラス ポストプロダクション：レスパシビジョン  
 助監督：高野佳子/加藤拓人 音楽：田中康介 & 熊谷太輔 主題歌：植田真梨恵「WHAT'S」(GIZA studio) 宣伝デザイン：秋山京子 宣伝：細谷隆広/矢部紗耶香 企画協力：アクターズ・ヴィジョン  
 配給：アークエンタテインメント 特別協力：アミューズメントメディア総合学院 制作：ヒコキ・フィルムズインターナショナル/メディアアプルポ [2019年]106分 [日本] ©「ミセス・ノイズィ」製作委員会

<http://mrsnoisy-movie.com>